

九州GX推進フォーラムを開催しました

中小企業・小規模事業者のカーボンニュートラル実現に向けた脱炭素経営普及促進事業

九州経済産業局
資源エネルギー環境部資源エネルギー環境課
カーボンニュートラル推進・エネルギー広報室

九州経済産業局では、「中小企業・小規模事業者のカーボンニュートラル実現に向けた脱炭素経営普及促進事業」における成果を、九州GX推進フォーラムと題したイベントを開催する場においてご報告いたしました。なお開催にあたっては、脱炭素化に関する事業に取り組む九州経済産業局における「地域S Cにおける中堅企業を中心とした脱炭素化に関する調査」事業及び福岡市による「カーボンゼロ商品創出事業」に関するご報告も行いました。九州における脱炭素化を目指す中堅・中小企業を中心に約200名を超える方にお集まりいただき、サプライチェーンにおける脱炭素化、専門家の活用、カーボンゼロ商品の創出と多様な情報が得られる場となりました。

【開催概要（標記事業部分）】

<日時> 2025年2月12日 16:10~16:55

<場所> 電気ビル共創館 & オンライン

<プログラム> 別紙の通り

<報告者>

調査結果報告：株式会社アットグリーン代表 富永 聖哉

事例紹介①：日ノ出紙器株式会社 製造本部課長 鶴丸勝也氏
× 一般社団法人エネルギーマネジメント協会
代表理事 高田敏春氏

事例紹介②：矢野特殊自動車株式会社 取締役 品質保証部長 柴田和典氏
× 中小機構九州本部アドバイザー 馬場英樹氏

<ご報告>

冒頭、本事業に係る報告として、株式会社アットグリーン富永氏より脱炭素を専門とする支援者による事例研究会での議論を紹介し、企業が専門家の活用に際して求められること等をご紹介します。

またトーク形式による事例発表を2件行い、一般社団法人エネルギーマネジメント協会及び中小機構九州本部から支援を行った内容を発表いただいたのち、日ノ出紙器株式会社及び矢野特殊自動車株式会社より支援を受けた感想とともに、支援を必要された背景や脱炭素や省エネを検討する人材の状況について等をお話いただきました。支援者側からは、また本体制で支援をおこなったことで提供できた価値、一般的に支援をされるうえで苦労される部分についてをご説明いただきました。

事例の詳細については、九州経済産業局HPにおいて、事例集として公開しておりますのでぜひご覧ください。

カーボンニュートラル・脱炭素推進に向けた活動を支援する事例をまとめました (METI/経済産業省)



富永氏による事業成果のご報告



会場の様子

トークセッションによる事例発表の様子

トークセッションによる事例発表の様子



<開催結果>

参加者：対面104名
オンライン130名

満足度：5段階評価中

・非常に参考になった	53%
参考になった	34%
どちらともいえない	12%
あまり参考にならなかった	0%
全く参考にならなかった	0%

(回答者数71)

九州GX推進フォーラム

参加
無料

～脱炭素を通じた中小企業の価値創造～

取引先からの要請への対応、
カーボンゼロ商品創出、専門家の活用
による価値創造のヒントを共有します！

2025年
2/12 (水)
13時～17時
定員：120名

於：電気ビル 共創館 3階 カンファレンスA (大会議室)
福岡市中央区渡辺通2-1-82

オンライン配信あり^(LIVE)
定員：200名
Microsoft Teams を使用

第1部

基調講演

13:00
～13:50



1. 中小企業における脱炭素化の重要性

Sphera Solutions, Japan (株) ディレクター

大住 政寛 氏

世界的なLCAソフトウェアである「LCA for Expert」を日本において展開するSphera Solutions, Japan (株) の大住氏より、脱炭素に関する最近の動向と、中小企業が脱炭素に取り組む上で必要なマインドセットについて講演いたします。

2. 経済産業省におけるGX施策のご紹介

第2部

個別課題の
対応に関する
事例紹介・トークセ
ッション

13:50
～17:00

課題1

取引先からの脱炭素要請への対応

企業価値を守る

脱炭素は自社の価値向上において重要ですが、単独で取り組むには課題が多い領域です。今回、地域のサプライチェーンで協業しながら脱炭素に取り組む方策について実例を交え紹介します。

九州経済産業局
(報告：(公財)九州経済調査協会)

課題2

脱炭素を通じた商品の付加価値向上

企業価値を高める

カーボンゼロ商品を持つ中小企業は大きなビジネスチャンスが訪れています。今年、その開発に業種の違う5社が挑戦！商品開発のポイントや試行錯誤した点など、専門家を交え事例を紹介します。

福岡市
(報告：(一財)九州オープンイノベーションセンター)

課題3

脱炭素対応人材やノウハウ不足への対応

企業価値を引き出す

カーボンニュートラル推進に実際に取り組んだ企業の実例とその推進をサポートした専門家の声を併せてお伝えすることで中小企業にとっての効率的な取り組み方を考えます。

(一財)九州オープンイノベーションセン
ター/九州経済産業局
(報告：(株)アットグリーン)

お申込はこちら！



<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kyusyueneka/n/kyushugx>

定員になり次第締め切らせていただきます。

お問合せ:

九州経済産業局 資源エネルギー環境課 安達・櫻井 Tel:092-482-5468
(一財)九州オープンイノベーションセンター /K-RIP Tel:092-474-0042

<プログラム>

プログラム

開会挨拶 九州経済産業局

第1部 基調講演

九州GX推進フォーラム

2/12(水)
13:00-17:00

講演 13:05～13:35	中小企業における脱炭素化の重要性 Sphera Solutions, Japan 株式会社 ディレクター 大住 政寛 氏 今後、脱炭素の要請は、グローバル企業のみならず中小企業にも及ぶと考えられます。一方、脱炭素の取組に関しハードルを感じている企業も多いのではないのでしょうか。長年、自動車メーカー、化学メーカーの環境負荷対策に取り組んできた大住氏から、脱炭素の取組はネガティブな「義務」ではなく、企業の価値創造に資するポジティブな「きっかけ」になるという観点で、最近の動向や具体的な取組の方策について講演をいたします。
施策紹介 13:35～13:50	経済産業省におけるGX施策のご紹介（オンライン） 経済産業省イノベーション・環境局 GXグループ 環境政策課 GX推進企画室 課長補佐 永井 健寛

第2部 個別課題の対応に関する事例紹介・トークセッション

課題 1 13:50～14:35 取引先からの脱炭素要請への対応 九州経済産業局	GXのカギとしてのサプライチェーンにおける企業間の連携 今後強まることが予想される取引先からの脱炭素要請に関して、半導体や食品のサプライチェーンにおいて、企業間で連携してGXを実現している事例を紹介し、その可能性について報告します。 ①事業報告 (公財)九州経済調査協会 河村 奏瑛 ②事例紹介  株式会社三松 田名部 徹朗 氏  SAGA COLLECTIVE 協同組合 山口 真知 氏
--	---

休憩 14:35～14:45

課題 2

14:45～16:10

脱炭素を通じた商品の付加価値向上

福岡市

カーボンゼロ商品開発 成功までの道筋！

水耕栽培、IT、倉庫業、印刷業、そして土木設計と、業種の異なる5社が挑戦した「カーボンゼロ商品開発」の道筋とその成果をサポートした専門家とともにご紹介します。

①事例発表

株式会社
GG.SUPPLY

国村 隼太 氏

株式会社
EDAHA

黒瀬 啓介 氏

GG.SUPPLY

EDAHA

②トークセッション

株式会社ドミクス
コーポレーション

黒田 朗 氏

DOMEX

株式会社
大建

横山 聖史 氏

株式会社 大建

専門
家
中小企
業
顧問
佐佑 氏

課題 3 16:10～16:55 脱炭素対応人材やノウハウ不足への対応 (一財)九州オープンイノベーションセンター 九州経済産業局	脱炭素/カーボンニュートラル分野の人材不足にどう立ち向かう？ 専門家による支援を通じて脱炭素/CN経営をスムーズに進め、継続性ある活動とするためのポイントについて専門家や事業者から得られた声を主に報告いたします。 トークセッションでは、支援を受けられた企業と専門家による生の声を通じて効果の高い脱炭素/CN経営戦略づくりに繋げます。 ①事業報告 株式会社ATGREEN 富永 聖哉 ②企業と専門家によるトークセッション 日之出紙器工業株式会社、株式会社矢野特殊自動車 独立行政法人中小企業基盤整備機構 九州本部 一般社団法人エネルギーマネジメント協会
--	---

閉会挨拶 一般財団法人九州オープンイノベーションセンター